NO.

022

社会 ユニバーサルデザイン

Design for Everyone

すべての人のためのデザイン——ユニバーサルデザイン

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 300語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Have you ever noticed the small bumps on the side of shampoo bottles in Japan? They allow people to tell shampoo from conditioner without looking, which helps people who cannot see well, as well as anyone washing their hair with their eyes closed. This is an example of universal design: the idea of creating products and spaces that everyone can use, regardless of age or ability.

2 The term was made popular by the American architect Ronald Mace in the 1980s. ❶**First of all**, he argued, designers should not create special products only for disabled people. Instead, they should ❷**include the widest possible range of users in** their thinking from the start.

3 Good universal design often goes unnoticed because it simply works. ❸**For instance**, many city buses have low floors, and when a bus ❹**pulls up** at a stop, it can lean toward the sidewalk ❺**so that wheelchair users can** board easily. Clear signs and announcements ❻**inform passengers of** the next stop, which helps visitors avoid ❼**losing their way**.

4 Such designs ❽**come in handy** for far more people than expected. A slope built for wheelchairs is also used by parents with strollers and travelers with heavy suitcases. Large, simple buttons help those of us who ❾**are all thumbs** as much as people with weak fingers. Steps and narrow doors, on the other hand, can ❿**get in the way of** anyone carrying a heavy load.

5 Universal design is not only about objects, however. It also means thinking about how we treat each other. Well-meaning people sometimes ⓫**catch a blind person by the arm** to guide them, which can be frightening. It is better to ask first and offer your arm instead. Designing a society for everyone does not ⓬**ask much of** us: only that we imagine the world from someone else's position.

語注 **bump** 突起・でっぱり **regardless of** ～に関係なく **architect** 建築家 **stroller** ベビーカー **well-meaning** 善意の

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 first of all まず第一に □□□

いくつかの点を挙げるときの最初の目印。＝ to begin with / in the first place。後ろに second・also・then などが続くことを予想して読む。 例 *First of all, let me introduce myself.* まず初めに、自己紹介をさせてください。

2 include A in B A を B に含める □□□

反対は exclude A from B（A を B から除く）。受け身 be included in ~ も多い。前置詞 including（～を含めて）も頻出。 例 *Please include your phone number in the form.* 用紙に電話番号を含めてください。

3 for instance 例えば □□□

＝ for example。具体例が来る目印で、その前の抽象的な主張を説明している。such as は名詞を並べるだけ、for instance は文を続けられる。 例 *Some animals, for instance bears, sleep through the winter.* 一部の動物、例えばクマは冬の間ずっと眠る。

4 pull up (~) （車が）止まる □□□

自動詞で「（車・運転手が）止まる」。pull up at the station（駅に止まる）。他動詞で「～を引き抜く」「～を引き上げる」の意味もある。pull over（道路わきに寄せて止める）と近い。 例 *A taxi pulled up in front of the hotel.* タクシーがホテルの前に止まった。

5 so that S can ~ Sが～できるように □□□

目的を表す。can の代わりに will・may も使う。in order that S can ~ は硬い言い方。so ～ that ...（とても～なので...）の結果構文と区別。 例 *Speak louder so that everyone can hear you.* みんなに聞こえるように、もっと大きな声で話して。

6 inform A of B A に B を知らせる □□□

of は「関連」。remind A of B（A に B を思い出させる）、convince A of B（A に B を確信させる）と同じ型。inform A that S V の形もある。 例 *Please inform us of any changes.* 変更があればお知らせください。

7 lose one's way 道に迷う □□□

＝ get lost。one's は主語に合わせる。比喩で「（人生の）方向を見失う」の意味にも使う。find one's way（道を見つけて進む）と対で覚える。 例 *We lost our way in the forest.* 私たちは森で道に迷った。

8 come in handy 役に立つ □□□

handy は「便利な・手ごろな」。＝ be useful。「いざというときに役立つ」の感じ。主語は物が多い。 例 *A small flashlight can come in handy in an emergency.* 小さな懐中電灯は非常時に役立つことがある。

9 be all thumbs 手先が不器用だ □□□

指が全部親指のようで細かい作業ができない＝不器用。＝ be clumsy。反対は be good with one's hands（手先が器用だ）。 例 *I'm all thumbs when it comes to sewing.* 裁縫のことになると、私は本当に不器用だ。

10 get in the way (of ~) （～の）邪魔になる □□□

道の中に入り込む＝妨げになる。＝ interfere with / hinder。物理的な邪魔のほか、計画や目標の妨げにも使う。 例 *Don't let your fears get in the way of your dreams.* 不安に夢の邪魔をさせてはいけない。

11 catch A by the arm A の腕をつかむ □□□

「動詞＋人＋by the＋体の部分」の型。the を使い、his などの所有格にしない点が頻出（catch him by the arm）。pat A on the shoulder、look A in the eye も同じ型。 例 *The mother caught her son by the arm.* 母親は息子の腕をつかんだ。

12 ask A of B B に A（好意・質問など）を頼む・求める □□□

A に much・a lot・too much・a favor など、B に人。ask too much of ~（～に多くを求めすぎる）の形でよく使う。ask A for B（A に B を求める）とは A・B の中身が逆。 例 *The coach asks a lot of his players.* その監督は選手たちに多くを求める。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 2 段落によると、ロナルド・メイスの考えはどれか。 [ ]

① 障害のある人のためだけに特別な製品を作るべきだ
② 最初からできるだけ幅広い利用者を考えに入れて設計すべきだ
③ 製品は若い人向けに作るのがよい
④ デザイナーは利用者の意見を聞く必要はない

問2 第 4 段落で、車いすのための坂道が例に挙げられているのはなぜか。 [ ]

① 坂道は危険なので減らすべきだと示すため
② 車いすの人だけが坂道を使うことを示すため
③ 一部の人のためのデザインが、予想よりずっと多くの人に役立つことを示すため
④ スーツケースを持つ旅行者は坂道を使えないことを示すため

問3 第 5 段落で筆者が勧めていることはどれか。 [ ]

① 目の見えない人を案内するときは、まず声をかけて自分の腕を差し出す
② 目の見えない人を見かけたら、すぐに腕をつかんで案内する
③ 目の見えない人には話しかけない方がよい
④ ユニバーサルデザインは物だけに関わる考え方である

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1	まず第一に	2	A を B に含める
3	例えば	4	（車が）止まる
5	Sが〜できるように	6	A に B を知らせる
7	道に迷う	8	役に立つ
9	手先が不器用だ	10	（〜の）邪魔になる
11	A の腕をつかむ	12	B に A（好意・質問など）を頼む・求める

背景知識 ユニバーサルデザインは、年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が使いやすいように製品や環境を設計する考え方で、アメリカの建築家ロナルド・メイスが提唱した。障害のある人のために後から段差をなくす「バリアフリー」に対し、最初から誰もが使えるように作る点が違う。日本ではシャンプー容器の突起、低床バス、多機能トイレなどが例として知られる。車いすのための工夫がベビーカーや旅行者にも役立つように、一部の人への配慮が多くの人の利益になることも多い。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 日本のシャンプーの容器の側面にある、小さな突起に気づいたことがあるだろうか。それがあるおかげで、見なくてもシャンプーとリンスを区別できる。目のよく見えない人の助けになるだけでなく、目を閉じて髪を洗っている人なら誰にでも役立つ。これはユニバーサルデザインの一例だ。年齢や能力に関係なく、誰もが使える製品や空間を作るという考えである。

2 この言葉は、1980 年代にアメリカの建築家ロナルド・メイスによって広められた。**まず第一に**、デザイナーは障害のある人のためだけに特別な製品を作るべきではない、と彼は主張した。その代わりに、最初からできるだけ幅広い利用者を考え**に含める**べきだというのである。

3 よいユニバーサルデザインは、ただうまく機能するので、気づかれないことが多い。**例えば**、多くの市バスは床が低く、停留所に**止まる**と、車いすの人が楽に乗れる**ように**、歩道の方へ車体を傾けることができる。分かりやすい表示と案内放送が乗客に次の停留所を**知らせ**、観光客が**道に迷わ**ないように助けている。

4 こうしたデザインは、予想よりはるかに多くの人の**役に立つ**。車いすのために作られた坂道は、ベビーカーを押す親や、重いスーツケースを持つ旅行者にも使われる。大きくて単純なボタンは、指の力が弱い人と同じくらい、私たちのように**手先が不器用な**者の助けになる。一方、階段や狭いドアは、重い荷物を運ぶ人なら誰にとっても**邪魔になる**ことがある。

5 しかし、ユニバーサルデザインは物だけの話ではない。私たちが互いにどう接するかを考えることでもある。善意の人が、目の見えない人を案内しようとして、いきなり**腕をつかむ**ことがあるが、それは相手にとって怖いことがある。まず声をかけて、代わりに自分の腕を差し出す方がよい。すべての人のための社会をデザインするのに、私たちに**多くが求められる**わけではない。ただ、他の人の立場から世界を想像すればよいのだ。

要旨 ユニバーサルデザインとは、最初から誰もが使えるように物や空間を作る考え方で、一部の人のための工夫が多くの人の役に立つ。それは人と人との接し方にも関わり、他人の立場で世界を想像することが大切だ。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 3** **問3 1**

問1 正解 2 根拠は第 2 段落 they should include the widest possible range of users in their thinking from the start。2 が正解。1 は designers should not create special products only for disabled people と逆で、Instead の前で否定されている内容。3 は第 1 段落の regardless of age or ability（年齢や能力に関係なく）に反する。4 は本文に書かれていない。

問2 正解 3 根拠は第 4 段落 Such designs come in handy for far more people than expected と A slope built for wheelchairs is also used by parents with strollers and travelers with heavy suitcases。3 が正解。1 の「減らすべき」は書かれていない。2 は also used by parents ... and travelers とあり逆。4 も同じ文に旅行者も使うとあり逆。段落の最初の文が主張で、坂道はその具体例である。

問3 正解 1 根拠は第 5 段落 It is better to ask first and offer your arm instead。1 が正解。2 は Well-meaning people sometimes catch a blind person by the arm ..., which can be frightening と、相手を怖がらせる行動として紹介されている。3 は ask first（まず尋ねる）とあり、話しかけることを勧めている。4 は Universal design is not only about objects と逆。